



兵庫県議会議員

橋本なるとし

昨年は暑い夏が続いたのち、一瞬で秋を通り越し冬がやってきました。季節の移り変わりにも気候変動の影響を感じます。衆議院総選挙、兵庫県知事選挙を経て、政治の景色も大きく変わりました。衆議院では与党が過半数割れとなり、立憲民主党をはじめ野党の協力がなければ国会運営ができない状況が生まれています。県知事選挙では斎藤知事が再選を果たしましたが、複数の公職選挙法違反疑惑が生じ、選挙の在り方そのものが問われる前代未聞の事態となっています。その間も、県議会は9月議会での決算特別委員会や12月議会での補正予算審議など、県民生活に直結する議論を行ってきました。今号では、これら議会活動の報告と選挙の在り方に関する考察をお届けします。

兵庫県議会 第368回定例会 審議日程：2024年9月19日～10月23日

第369回定例会 審議日程：2024年12月3日～12月13日

知事不信任案可決

9月19日、予定されていた代表質問や一般質問を省略し、補正予算などを可決したのち、斎藤元彦知事に対する不信任決議案が提出され、全議員一致で可決されるという事態となりました。当時、メディアの論調は県議会の早期行動を求めるものが多く、県民からも「知事を早く辞めさせるべきだ」との声を多く聞きました。また、箕面市長選挙での現職落選という結果を受けて、それまで知事擁護の立場と見られていた維新の会が一転して単独でも不信任案を提出する動きを見せたことから、全会派での不信任案共同提出となりました。しかしその後、斎藤氏は与えられた10日間でメディア出演を繰り返し、議会解散の可能性も匂わせつつ、最終的には失職のうえ再選を目指すことを表明しました。

決算特別委員会

決算特別委員会の理事として、令和5年度決算について11日間にわたって集中的に審議しました。私は、財政状況、企画部・県民生活部・部外局、福祉部、公安委員会、環境部、教育委員会、病院局について質疑を行いました。いくつか具体的な内容をご紹介します。

1 阪神オリックス優勝記念パレードの事務局運営について

同パレードは実行委員会形式で行われ、クラウドファンディング収入や協賛金も公金として処理されていない。しかし、知事が兵庫県事務局長を担い、県民生活部総務課に同事務局をおくことが実行委員会規約に明記されていることから、事務局運営は公務として行われた。短期間で6億円もの収支を扱う仕事を本来業務と兼務で行うことで、職員に過度な負担がかかっていた恐れがある。この件は、補助金のキックバック疑惑とも関係することから継続して事実究明に取り組んでいく。



第6回県政報告会
開催のご案内

📅 日時：2025年1月26日(日)15:00～16:30

📍 場所：橋本なるとし事務所(宝塚市野上2-4-15)

✉ 申込先：hashimotonarutoshi@gmail.com

※ 席確保の都合上、事前にお申込みをお願いします。

2 介護人材の確保対策について

超高齢化社会の中で、介護分野では賃金水準を十分確保できず、人材不足が続いている。その解消のための取組みとして、県として外国人介護人材の参入促進と定着支援を進めている。介護福祉士の資格取得を支援する補助制度や、送り出し国と連携して有能な人材確保・育成を行う社会福祉法人などとの「外国人介護人材の活躍に向けた連携協定」により、県内事業者への人材供給を後押しする。また、今春の訪問介護の基本報酬減額によって、小規模な訪問介護事業所における人手不足と経営難が深刻化している。県として、処遇改善加算の取得に向けたセミナー開催や社会保険労務士の助言指導などの取組みを進める。

3 主権者教育の充実について

成人年齢が18歳に引き下げられ、主権者教育の充実が求められている。現在は、公民科や家庭科などの授業を通じて生徒に政治的教養を身に着けさせているとのこと。しかし、主権者教育は単に政治的教養を身に着ける以上に、主体的に共同体を育む態度を育成し、自らの人生と他者の幸せを願う市民性、つまりシティズンシップを養うことを視野に入れて取り組んでほしい。例えば、いじめを抑制する免疫プログラムのように、集団の中で傍観者を減らし、主体的にいじめを仲裁する個人を増やす取り組みも主権者教育と言える。この課題も広がりがあるので継続して取り組みたい。

選挙の在り方が問われている

全国的に注目を集めた県知事選挙。選挙期間中も選挙後も、多くの論点があって議論が続いています。一方で、「もうええやん、決まってんし」といった声を聞くこともあります。確実に言えることは、従来のやり方で



全く候補者の声が届いていなかった多くの市民が存在する、ということです。新聞やテレビのような公益性を保つメディアにはアクセスせず、街頭演説や選挙カーにも興味がない層へ、どう声を届け、正確な一次情報を伝えるのが問われます。一方でSNSによる選挙には課題があるのも確かです。特に「収益化アカウントによる選挙運動の可否」は大いに議論が必要です。広告料収入のために活動する選挙ビジネスを野放しにしてよいのか？また政治家による収益化アカウントへの規制は可能か？SNS時代の新しい選挙の在り方を早急に整えていかねばなりません。

安全・安心なまちづくりへ、 城崎大橋架け替え工事進行中

こちらは、建設常任委員会で但馬へ調査に行った際の、円山川にかかる城崎大橋架け替え工事現場。現行の旧城崎大橋は、昭和30年代に架けられ劣化も著しく、また橋脚の数が多いため洪水時には流木などで堰き止めてしまい、氾濫を誘発する恐れがあります。また、10t以上の車両が通行できないため、大型バスは迂回ルートを走るなど、観光面でも支障が出ています。

道路をはじめインフラ整備は、経済効果だけではなく、防災の観点からも命を守る大切な取り組みです。その実効性を担保するためにも、しっかりと学び続けます。



●学歴：宝塚武庫山幼稚園 / 宝塚第一小学校 / 大阪教育大学附属池田中学校・高校 / 京都大学法学部卒

●職歴：宝塚市役所 / 衆議院議員桜井シュウ秘書 / 兵庫県議会議員 (2023年4月～) / 立憲民主党兵庫県連 政務調査会長

発行元：兵庫県議会議員 橋本なるとし

〒665-0022 兵庫県宝塚市野上2丁目4-15

0797-26-7588 / 0797-26-7589(FAX)

hashimotonarutoshi@gmail.com

https://hashimoto-narutoshi.com



橋本 なるとし

検索